

だい1まく（むかしばなしをよみきかせる）

おばあちゃん

きょうは にんぎよひめの おはなしを しようね

こども

わあい

こども

にんぎよひめって ほんとうに いるの？

おばあちゃん

そうだねえ、むかし みたって ひとがいるんだけど、ほんとうの
ところは どうなんだろうねえ。

こども

はやく、はやく よんで

おばあちゃん

はいはい、すわってすわって。しずかにきくんだよ・・・。
むかしむかし、とてもきれいなうみがありました。

そして、そのうみには、とても うつくしい にんぎよが いると
うわさに なっていました。きょうも、にんぎよひめは うみを

およいで たのしいことを さがしていました。

（ぶたいが あかるくなる）

だい2まく（うみのうえ）

にんぎよひめ

ああ、かわらないうみのそこ、おべっかばっかつかってくる、さ
かなたち。ああつまらない。

おねえさまたちは、りくのようすをとめたのしそうにつたえてく
れるけれど、わたしはまだちいさいからってゆるしてもらえない。

なにかたのしいことはないかしら。

あら？ なにか、あのふねからたのしそうなおとがきこえるわ。

（ふねのうえにおうじさまがのる）

にんぎよひめ

まあ、ふねのうえでダンスをおどっているわ。それにはなびまで。
なんてたのしそうなんでしょう。あのひとは、なんてかっこいいんで
しょう。つい見とれてしまうわ。ふねがこちらへ。みつからないよう
にかくれなくちや

（かいそうにかくれて、ふねをみる）

ナレーター

きょうはおうじさまの16さいのたんじょうび。それで、こんなに
にぎやかにおいわけのかいがひらかれていました。おや、とおくのほ
うでゴロゴロかみなりのおとがします。あらしがちかづいてきそうで
す。でも、おうじさまはきづきそうにありません。

にんぎよひめ

まあ、なみがたくなってきたわ。あめまでふってきて。これじゃ
あたのしそうなパーティーもこれでおしまいね。

(かみなりのおと ドーン ♪あらしの音楽♪)

おうじさま

うわあ!!!!ぶくぶくぶくぶく(たおれる)

にんぎょひめ

ああ、おうじさまをしなければいけない!どうか、どうかたすかって……。

ナレーター

おひめさまはみずのなかへふかくもぐったり、おおきななみのあいだにうかびあがったりしているうちに、とうとう、おうじのところへおよぎつきました。

にんぎょひめ

(おうじさまのちかくでひざまずき、たすけあげる) どうか、どうかたすかって……。

ナレーター

あけがたちかく、あらしはすぎりました。ふねはかげもかたちもなく、あたりには、きれはしひとつみえません。おひさまがあかあかのぼって、ういのおもてをキラキラとてらしました。

にんぎょひめ

ああ、どうにか いきてくれますように。あ、あそこのはまにいえがあるわ、あそこにつれていきましよう。(つれていって、そっとおうじをねかせる)

どうか、げんきになってくださいね。(にんぎょ たいじよう)

おひめさま

あら、こんなところに、おとこのひとが。だいじょうぶですか!

おうじさま

ごほつ、ごほつ、(ゆっくりおきあがる) うーん、ここは……?

おひめさま

ああ、よかった。おきをたしかに。まずはわたしのいえでゆっくりやすんでください。(おひめさまのたすけながら、たいじようする)

にんぎょひめ

どうやられたすかったみたいね。ああ、ほんとうによかった。

だい3まく(はまべ)

(あめのおとがちいさくなる)

ナレーター

にんぎよひめは、くるひもくるひもとおくから、うみからかおをだして、おうじさまのようすをのぞいています。

にんぎよひめ

ああ、きょうは、いえのまえで、すわってらっしやるわ。まあ、きょうはげんきにはまをさんぽしているわ。ああ、あのかたとおはなししてみたいわ。(おうじは、にんぎよひめのセリフにあわせて、うごく)

でも、このすがたではおどろかせてしまう……。そうだ、うみのそこなんでもかなえてくれるまじよがいるときいたわ。そこにいったら、そうだししてみよう。

だい4まく(まじよのやかた)

まじよ

あーらめずらしいおきやくさんだね。いっひっひ。

にんぎよひめ

あの……

まじよ

いーっひっひ。いわなくてもわたしにはちやーんとわかっているよ。ばかなことはやめておきなさい。おまえさんは、さかなのしつぽをと

つちやって、にんげんみたいにあるくときにつかう2ほんのつつかいぼうがほしいんだらう。そうして、わかいおうじがおまえさんをすきになってもらおうなんてかんがえているんだらう。

にんぎよひめ

ええっ、なんでわかるの

まじよ

ふん、でも。ちようどいいときにきたね。ちようどくすりをつくったところさ。くすりをめば、おめえさんのしつぽはちぢんじまつて、あしというものになるよ。だが、いたいのなんの。まるで、ないふであしをきりつけられたようないたみがするよ。そのあしであるくなんてことはできないだらうね。それでも、がまんできるっていうなら、くすりをうってやろうさ……。

にんぎよひめ

(すこしかんがえて) それでも、それでもかまいません。

まじよ

それから、わたしにはらうだいきんのこともわすれちゃこまるよ。いーっひっひ。そうだえ、そのこえでおうじのこころをまよわそうっておつもりだらうが、そのこえをわたしやもらいたいさ。それくらいしてもらわなきゃつりあいつてもものがとれないからね。

にんぎよひめ

でも、でも、あなたにこのこえをあげてしまったら、あたしには、
いったい、なにが、なにがのこるといふの！はまにあがったからとい
つて、あしはいたくてあるけないんでしょ！

まじよ

おまえさんにや、きれいなすがたと、ものをいうめがあるじゃない
か。それだけありや、にんげんのこころをまよわすことができるって
もんさ。。。(にんぎよひめはあたまをかかえてなやむ)

おや、おまえさん、ゆうきがなくなったのかい？

にんぎよひめ

いいわ、どうぞ。

まじよ

いつひっひっひ。そうこなくっちゃねえ。そのつくえにあるくす
りをもつておいき。さあ、くすりをのむんだ。そして、いそいではま
べにいくんだね。ちようどはまにあがったころ、そのしつぽが、あし
にかわるだろうよ。いつひっひっひ。

にんぎよひめ

(くすりのびんをマジマジとみる)
このくすりをのめば。。。。

まじよ

ひっひっひ、おじけづいたのか。さあのむんだよ。

にんぎよひめ

ええい(くすりをのむ)

まじよ

のんだね、のんだね！！さあ、はまへ、いそいでおいき！そのりっ
ぱなしつぽがあしにかわってしまうよ！！

にんぎよひめ

ああ、のどがやける。。。いたい・・・いたくてたまらない
わ！！

まじよ

くすりがきいてきたしよこさ、さあおいき。そうそう、こまった
ときのために、その袋も持っていくんだ、にんぎよひめ。きつと、お
まえさんのちからになるだろうさ。いつひっひっひ、いーひっひっひ
っひ！！！！

(まじよのわらいこえをききながら、たいじようする)

だい5まく(おうじのうちあげられたはまべ)

(にんぎよはたおれている、目を覚まして、おきあがろうとすると、あしのいたみで、もういちどたおれる)

(おうじ とおくからにんぎよひめのすがたをみつけていそいでかけよる)

おうじ

どうしましたか。だいじょうぶですか。

(にんぎよ、ゆつくりかおをあげる)

おうじ

ああ、おうつくしい。。いや、あなたは、どういうかたですか？どうして、こんなところでおれているんですか？

(にんぎよ、ゆつくりおおきくくびをふる。そして、またたおれこむ)

おうじ

ああ、ここでは、どうにもならない。お城に連れて行こう。

(人魚姫をだきおこし、手を取り、なんとかつれていく。にんぎよひめは、あしはいたそうにしながら、たいじょう)

ナレーター

りっぱなドレスを着ると、人魚姫の美しさにだれもが目をみはりました。歌うことも、はなすこともできませんでしたが、人魚姫のうつくしさに、みんながみとれました。

おうじも、にんぎよひめのことをとてもかわいがりしました。ただ、そ

れは、はまべで助けてくれた娘にとっても似ていたからでした・・・。

第6場面(おしろ)

おうじ

いまから、となりのくにの姫がいらっしやる。初めて会うそのひめと結婚しなければいけないんだ。でも、ぼくが本当に結婚をしたいのは嵐の日の救ってくれた娘だけだよ。

にんぎよひめ

手を組み、いのるように(たすけたのは私です！というアピール)

ひめ

(おうじの前にきて いちれい)

おうじさま、はじめまして。

おうじ

あなただ！ぼくをたすけてくれたのは

ひめ

まあ、あなただったのですね。おげんきそうで・・・(手を取り、みつめあう)

おうじ

ああ、まさにぐうぜん。なんとしあわせなことだろう。
暗転

(カリーン カリーン かねのおと)

ナレーター

結婚式の日、お祝いの鐘が国中に鳴り響きました。花嫁と花婿は手を取り合って、司祭からお祝いの言葉を受けました。

にんぎょひめ

なんのために、わたしはこのおしろにきたのかしら……。そう
だ、魔女がこまったときになにかよこしていたわね。(袋をあける)
ナ、ナイフ！ なになに……。？これで王子を突き刺せば、人魚に戻
れる……。

にんぎょひめがナイフを持って、王子とひめのまえにでる

おうじ

どうした、そのナイフは！や、やめてくれ！

ひめ

いや、やめて！

にんぎょひめ
さようなら……。 (王子をつきさそうとして、自分の胸をナイフで
突く。倒れる)

王子

ひめ、ひめ！大丈夫か！

ひめ

(おろおろして、助けようとする。)

王子

ああ、泡になる。姫の体が泡になる……。

暗転

にんぎょひめ

私の体は解けて、海の泡になりました。けれども、私は少しも死ん
だ気がしません。ああ体が軽い。いまにも天にのぼる気分だ
わ……。ありがとう。おうじ。楽しい時間を。

暗転

雨の音

<https://www.youtube.com/watch?v=oV2gwOxkH58>

落雷

<https://www.youtube.com/watch?v=ZH5LCFuAKDg>